女性が活躍できる社会をめざして　　竹内ひろみ（６期）

1. 大学までは一応「男女平等」
2. 閉ざされる社会への道、女性にとって厳しい就職
3. 大学で学んだことは・・語学より哲学

　　そして得たものは？　その後の人生を決める。

1. 民間企業に就職、そこでは・・

　　歴然とある男女差別・・賃金、仕事、昇給・昇格

　　結婚退職があたりまえ

1. 結婚、出産後も働き続ける・・当時の民間企業ではパイオニア。
2. 国の男女雇用平等法施行で、女性社員にも昇格への道開ける。
3. 昇格試験３度目で合格、管理職に。
4. 仕事・・国際事業部で様々な業務に携わる。
5. 入社—７０年代始め：プラント輸出に関わり、技術書類の翻訳、

研修生の受け入れなど

② ７０−９０年代半ば：海外合弁会社への資材、機械、部品などの供給

③ ９０年代後半：関連会社の製品（反射材）の輸出・・欧州全域など。

　　　　展示会への出展、客先訪問、クレーム対応など、

　　　　出張も多く多忙。

1. ２００１年　退社（５６歳）
2. 生駒市で、市民運動など様々な活動に参加。
3. 前市会議員の病気引退の後を受けて急遽立候補、当選。

以後８年余り、今年４月から３期目を務める。